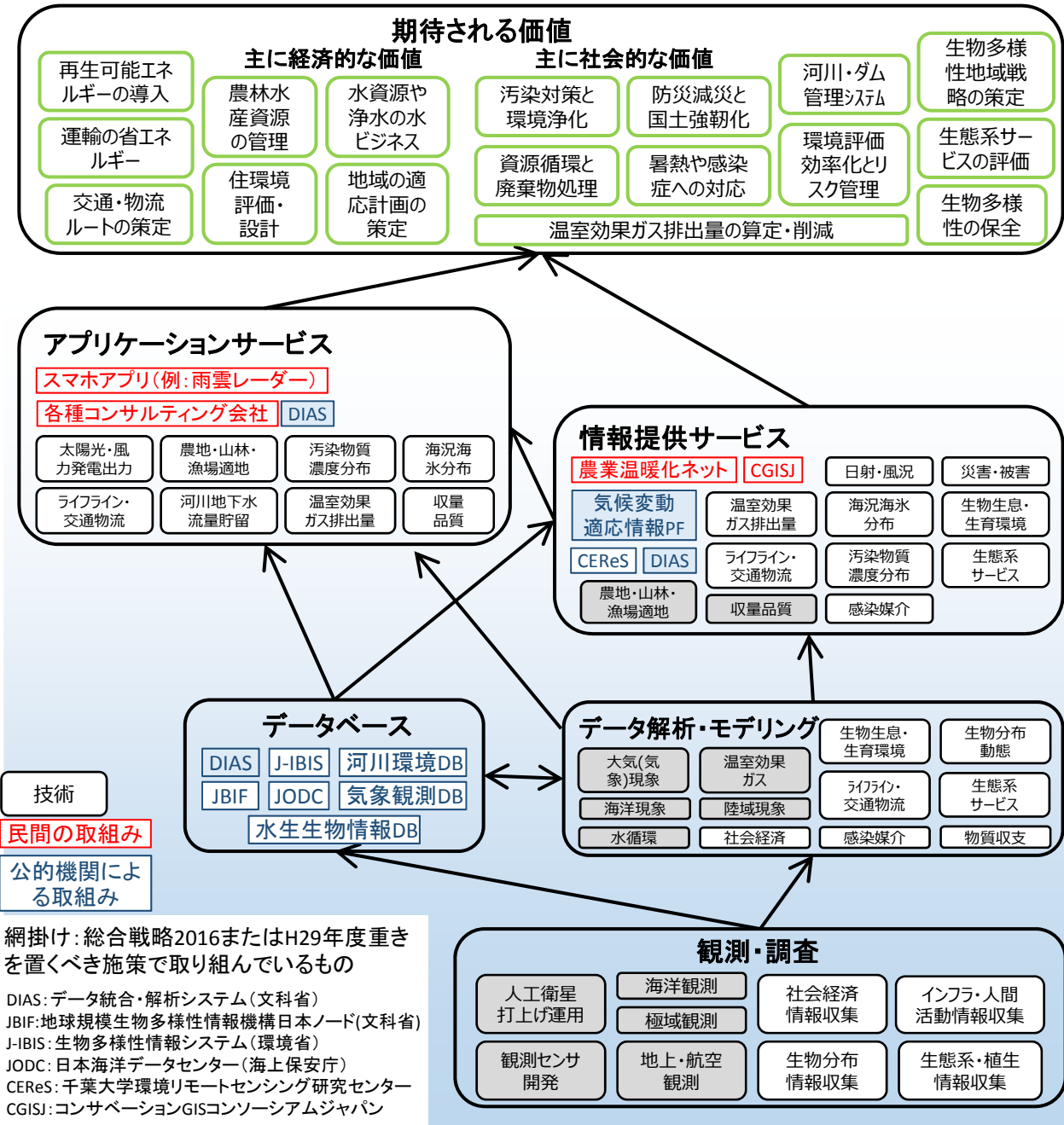


地球環境情報プラットフォームの俯瞰図

Society5.0における「地球環境情報PF」の位置づけ



地球環境情報PFが創出するバリュー(フィジカル空間)

- 社会的課題の解決**
- 気候変動に起因する様々な課題への対応
 - 世界の持続的な発展への貢献

- 経済的効果**
- よりの確な気候変動対策を立案することによる新たなビジネスチャンスの創出、想定される損害の軽減。
 - 地域に即した対応を促すことによる健全な地域経済の維持・発展

地球環境情報PFが担う範囲(サイバー空間)

地球環境情報PFのデータを用いたあらゆる地域スケールにおけるアプリケーションサービス・情報提供サービスの整備(官民を問わず)

網掛け: 総合戦略2016またはH29年度重きを置くべき施策で取り組んでいるもの

DIAS: データ統合・解析システム(文科省)
 JBIF: 地球規模生物多様性情報機構日本ノード(文科省)
 J-IBIS: 生物多様性情報システム(環境省)
 JODC: 日本海洋データセンター(海上保安庁)
 CEReS: 千葉大学環境リモートセンシング研究センター
 CGISJ: コンサベーションGISコンソーシアムジャパン